

## 令和3年度 ゆずり葉保育園 保育所自己評価

\* 本園の職員（園長以下24名）が評価（ガイドラインに沿って作成した評価書）の実施をしたものを集計しました。

<評価について>

評価をするにあたっては、集計結果を基に、概ね以下のような基準で評価を行っています。

A:よく出来ている B:ほぼ出来ている C:一部検討を要する D:改善を要する

|   |                           | 評価項目  | 評価  | 意見・改善策 |  |
|---|---------------------------|---|---|--------|--|
| I   | 保育理念                      | 保育理念や基本方針が、子どもの最善の利益を考慮したものになっており、全職員が理解し実践している。  | B   |        |  |
|   |                           | 保育目標を年度初めに職員で確認している。                              | B   |        |  |
|   |                           | 保育目標を、職員や保護者などの見やすい場所に掲示するとともに、園だよりや配布物を通し周知している。 | A   |        |  |
|   |                           | 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設置しているか。              | B   |        |  |
|   |                           | 目標は前年度の反省を生かしているか。                                | B   |        |  |
|   |                           | 目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。                         | B   |        |  |
| II  | 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場 | 保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるよう努めている。          | A   |        |  |
|   |                           | 一日の生活の流れに無理がないように配慮し、保育環境の安全と清潔が保たれている。           | A   |        |  |
|   |                           | 子どもが自己選択・自己決定・自己活動できる環境を確保している。                   | A   |        |  |
|   |                           | 子どもが人とのやり取りを育む環境を構成している。                          | A   |        |  |
|   |                           | 生活の場面に合った保育士の声、音楽など音に配慮している。                      | A   |        |  |
|   |                           | 園内に子どもたちが季節感を味わえるような工夫をしている。                      | A   |        |  |
|   |                           | 子どもが活動しやすいように、保育室の温度、湿度、換気、採光などに配慮している。           | A   |        |  |
|   | 生活と発達の連続性                 | 全体的な計画は、長期的な見通しを持って計画をたて、作成には職員が参加し、内容が共有されている。   | A   |        |  |
|   |                           | 一人ひとりの子どもの発達過程に合わせた目標や計画を作成し保育している。               | B   |        |  |
|   |                           | 子どもの実態や状況の変化に応じて、見直しや改善を行っている。                    | A   |        |  |
|   |                           | 重要な申し送り事項を記録し、進級時等に引き継ぎをしている。                     | A   |        |  |
|   |                           | 園全体としての評価を行い、全職員の共通理解のもと改善に努めている。                 | B   |        |  |
|   | 子どもの発達援助                  | 養護と教育の一体的展開                                       | 子どもの何気ない行動ひとつ一つに、それぞれの子どもの個別の育ちや発達を意識し、明確な保育の目標を持って関わっているか。                   | A      |  |
|   |                           |   | 子どもの気持ちに寄り添い、行動や表情に表面化されていない「気持ち」や「心の動き」をよみとることで、より良い育ちや学びにつなげるような働きかけをしているか。 | A      |  |
| 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。       |                           |   | A   |        |  |
| 3歳未満児（1，2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 |                           |   | B   |        |  |
| 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。        |                           |   | A   |        |  |
|   |                           | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。          | A   |        |  |
|   |                           | 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。                 | A   |        |  |

|   |                               |  |  |   |
|---|-------------------------------|--|--|---|
|   | 環境を通して行う<br>保育                | 子どもが基本的な生活習慣を身につけることが環境の整備、援助を行っている。   | A  |   |
|   |                               | 子どもがのびのびと体を動かせるような遊びの環境を意識してつくっている。  | B  |   |
|   |                               | 子どもが自発的に表現するよう、自由に使える様々な素材を用意している。   | B  |   |
|   |                               | 生活や遊びの中で、食に関する興味関心が上げられるよう働きかけをしている。   | A  |   |
|   |                               | 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている。   | A  |   |
|   |                               | 園児同士の関りで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている。  | A  |   |
|   |                               | 子どもが主体的に活動できる場所を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。                                  | B  |   |
|   |                               | 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。   | A  |   |
|   |                               | 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                      | B  |   |
|   |                               | 長時間に渡る保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。  | B  |   |
| 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | B                             |  |  |   |
| III<br>保護者に対する支援                                | 家庭との緊密な連携                     | 子どもの様子について日々、保護者に伝え情報を共有したり、園だより、クラスだより、連絡帳等により子どもの喜び合い、共有できる機会を設けている。         | A  |   |
|   |                               | 保育参観、行事などを通して、保育内容・保育の目的などを分かりやすく説明している。                                       | A  |   |
|   |                               | 個人面談を行ったり、保護者の気持ちに寄り添った子どもの相談援助を行っている。   | A  |   |
|   |                               | 医療機関、児童相談所の専門機関と連携をはかり保護者にとって必要な情報を提供している。                                     | B  |   |
|   |                               | 家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。   | A  |   |
|   |                               | 家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて関係職員に周知されている。   | A  |   |
|   |                               | あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている。  | A  |   |
|   | 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけている。 | A  |  |   |
|   | 地域における子育て支援                   | 地域の子育て支援ニーズに応じて、施設の専門性を活かしたサービスを提供している。  | B  |   |
|   |                               | 関係機関と連携し、地域性に応じた子育て支援をしている。  | B  |   |
| 地域の子育て資源、子育て支援に関する情報を収集し必要に応じて提供している。           |                               | B  |  |   |
| 保育園からの情報の提供をしている。                               |                               | B  |  |   |
| IV<br>保育を支える組織                                  | 健康及び安全の実施体制                   | 感染症発生時に、発生状況や感染予防策について保護者に通知している。  | A  |   |
|   |                               | 不適切な養育の兆候や虐待が疑われる場合には、関係機関と連携対応している。   | A  |   |
|   |                               | 健康診断と歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達している。  | A  |   |
|   |                               | 子どもの健康情報を共有し、子どもの既往症（アレルギー・熱性けいれん・脱臼癖・喘息など）について、全ての職員に周知するとともに、その発生時の対応を行っている。 | A  |   |
|   |                               | アレルギー疾患、慢性疾患を持つ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。                                 | A  |   |
|   |                               | アレルギー疾患を持つ子どもに対し、栄養士、調理員と連携を持ち、個々に合わせた対応を行っている。                                | A  |   |
|   |                               | 衛生管理マニュアルを基に、清掃・消毒などを行い、清潔・適切な状態を保っている。  | A  |   |
|   |                               | 施設、設備の安全点検を点検マニュアルに沿って適宜行い、不具合な箇所への必要な対策をとっている。                                | A  |   |
|   |                               | 地震・火災・不審者侵入時などの緊急対応手順を理解している。  | A  |   |
|   |                               |  | 保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。 | A |
| 業務遂行にあたって、正確、迅速かつ、報告・連絡・相談を実践している。              | A                             |  |  |   |

|             |             |  |   |  |
|-------------|-------------|--|---|--|
| 的<br>基<br>盤 | 職員の資質向上     | 問題意識を共有しながら職員間で共通理解し、協力している。                 | A |  |
|             |             | 保育士は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている。        | A |  |
|             |             | 適宜、園内研修を行ったり、各職員について、適切な研修機会の確保を行っている。       | A |  |
|             |             | 保育に関する専門書を読んだり、研修に参加し知識や技術の向上に努めている。         | B |  |
|             | 運営・管理、社会的責任 | 保育の実施と運営上の根拠となる法令、基本的な法令などを理解し、遵守している。       | A |  |
|             |             | 苦情解決制度の仕組みが確立され、保護者に周知されるとともに機能している。         | A |  |
|             |             | 個人情報の取扱いはガイドラインに基づいて実施されている。                 | A |  |
|             |             | 施設長としての役割と責任を理解し、質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮する。 | A |  |

### 『園全遺体の評価』

・新型コロナウイルスがまん延する中、安全と衛生に十分配慮し、感染対策を行いながら、保育を行うことができた。保護者にできる限りの適切な情報を発信し、保護者の深い理解を得ることができた。また、消毒の機会が多かったが、職員の協力を得て、適切に行い、園の休園という事態を避けることができた。

・ICT化を進めるべく「ICT推進プロジェクトチーム」を作り、チームメンバーを中心に加速させることができた。連絡帳をアプリで配信することとなり、職員間で、子どもの姿を配信する大切さを再認識し、内容についての学びを深める機会を持つことができた。

・行事はコロナ前の半分程度にまで回復した。内容について、職員間で見直す機会を多く設け、子どもが主体の保育を保護者に理解してもらうためにどのような行事が適切であるかを再考した。運動会や参観など、ひとクラスずつの公開であったが、保護者から評価していただき、職員の自信にもつながった。

・保護者が園内に入る機会が減ったが、玄関付近の装飾や子どもの制作などを多く飾り、季節感を大切に、あたたかい空間を作ることができた。

・保育の振り返りの時間や子ども達の姿を伝え合う時間を多く設け、どの職員も、どのクラスの子どものことがよく分かるようになった。

・職員の働き方を見直し、残業を徹底的に減らした。日中に交代で事務仕事ができるようにしたり、保育の準備も勤務時間内にして退勤できるようになった。新型コロナウイルスで数人の職員が交代で休むことになったが、困る事がなかった。

## 『来年度の課題』

- ・新型コロナウイルスが落ち着いてきている中、安全と衛生に十分配慮し、感染対策を行いながら、保育をどう展開するかが新たな課題である。また行事の在り方なども、再考したい。
- ・ICT化を更に進めるていく。それにより、できた時間を子どもの生活について話したり、保育を振り返る時間に充てていく。
- ・職員の採用を行い、一層充足させ、職員がゆとりを持って勤務にあたれるようにしていく。
- ・保護者が園内に入れる回数を増やし、保育を見てもらえるような機会を作る。
- ・園内のおもちゃを精査し、新しいおもちゃを増やしたり遊び方を研究し、子どもの遊びが深まるような持ちかけができるようにしていく。